

総会議事録

平成27年度 総会

開催日：平成27年3月22日

場 所：大江町交流ステーション

1. 開会のことば 佐々木副会長

2. 会長挨拶 清野会長

3. 顧問挨拶 稲泉顧問、船越顧問、生亀顧問

4. 会議成立状況報告 出席者16人 委任状6人 計22名で会議成立の旨、平田事務局長が報告。(定足数13名。規約第29条 評議員26名×1/2以上)

5. 議 長 小国山岳会 仁科友夫 評議員を推薦、承認された。

6. 議事録署名人 南陽山の会 伊藤之巳 評議員を推薦、承認された。

7. 報告事項

報第1号 平成26年度(公財)山形県体育協会功労賞受賞者について

受賞者 粕川 令人

平田事務局長から受賞者の役職経歴紹介があり、選手・監督として永年に亘る大会出場と審判・競技役員など後輩の育成に尽力されたことを考慮し推薦したとの報告があった。

7. 議事

議第1号 規約の改正について

①第4章 第12条(4) 副理事長 現行1名を若干名に変更する。

②第5章 第24条を追加 常任理事会には議事録を作成し、議長及び出席者の代表が署名の上これを保存する。(以下、項ずれ)

以上2項目について、青木理事長が説明提案し、承認された。

議第2号 平成26年度 事業経過報告と収支決算報告及び会計監査報告

平田事務局長が報告。

齋藤競技部長から実施事業の追加報告と自然保護委員長から実施状況の説明があった。

①齋藤競技部長 6/28、10/26 ドリームキッズ事業スポーツアカデミーの追加報告。

②高取自然保護委員長 6/7朝日自然塾の具体的な実施内容について説明。

【質疑1】青木評議員（川西山の会）から高体連登山専門部が建立した「安全登山の碑」について質疑があった。高梨普及部長（高体連登山専門部）から高体連50年の歴史の中で、8名の生徒が亡くなっている。そのことを忘れないで安全登山に徹するため募金活動を行いネイチャーセンター前の石跳沢コース入口に建立したとの説明があった。

【質疑2】横澤評議員（長井山岳会）から海外委員会活動費の決算額が0円であるが、その理由について質疑があった。平田事務局長から委員会活動費は主に日本山岳協会の委員長会議や総会などの旅費相当額であり、その報告書を支払の目安としている旨、回答があった。

以上、追加報告・補足説明後、承認された。

議第3号 平成27年度 国体山形県予選会の開催について

庄内地区に大会実施できる施設がないことから、庄内地区の事務局に於いて会場準備の人員確保を確実にこなうことを条件として、置賜地区を会場に開催する旨を提案。協力体制を整えることを条件に承認された。

又、ボルダリング競技とリード競技をそれぞれ別日程で実施する提案については、今後の検討課題とする。

議第4号 平成27年度 事業計画と収支予算案について

平田事務局長が平成27年度の実業計画と収支予算案について資料に基づき内容の説明があった。

又、青木理事長からは下記事業について補足説明があった。

①10/9～11 第54回全日登山（栗駒山）について

開催が隣県であり当岳連から参加者10名程お願いしたい旨の依頼があった。

②県民登山について

平成27年度は、鶴岡山岳会に担当を依頼、高橋会長から検討する旨の回答を得たことが報告された。

上記、承認された。

議第3号 役員の改選について

佐々木副会長から役員改選について、提案内容の説明があり承認された。

但し、村山地区選出の副会長が未定、速やかに決定する事。

遭難対策担当副部長は、事務局移転後に決定する。

高体連選出理事は、人事異動後の検討になる。

7. その他

①平成29年度のインターハイ登山競技について

普及部長 高梨高体連登山部専門委員長から平成29年に開催予定のインターハイ登山競技について、予定されている日程の説明と協力の要請があった。

開会時期：平成29年7月末～8月初（4泊5日）

会 場：山形市 蔵王～熊野岳・竜山

西川町 月山

②清野現会長から退任について皆にお礼の挨拶があった。

稲泉新会長からは、インターハイの件、山の日への対応などを交えて挨拶があった。

以上

本議事録は平成27年3月22日に開催された平成27年度総会の
議事内容および承認事項に相違ありません。

平成 27年 3月 22日

議 長 仁科 友夫

議事録署名人 伊藤 之巳